

追跡

— あの質問のゆくえ —

山林所有者の意識調査が必要

山林所有者の情報把握、意識調査についての考え方を問う。

平成25年3月

産業振興
課長答弁

詳細の把握と手立てを検討する

詳細は把握していない。どのような手立てが必要なのかも含めて検討する。

どうなった

「白鷹町森林・林業再生協議会」を設置し、森林・林業の再生に向けて動き出す！

豪雨災害をきっかけに町・森林組合・商工会・NPO等をメンバーに白鷹町森林・林業再生協議会を立ち上げ、町内の森林整備の推進と森林資源の利活用に向けて取組みを行っております。

森林整備が進まない原因としては、木材価格の低迷や世代交代等で山への関心の希薄化、森林の境界が不明瞭なことがあげられます。川東、川西地区のそれぞれに、モデル地区を選定し、境界明確化事業を実施しています。

境界明確化を実施した地区におきましては、今後、西置賜ふるさと森林組合が森林経営計画を策定し、国の補助事業を活用しながら利用間伐等の森林整備や路網の整備を進めていく予定です。

この取組みを広めていくことによって、所有者の方に山に対する関心を高めていただき、森林の整備と林業の再生になるよう、今後も取組みを進めて参りたいと思います。

(産業振興課)



所有者立会いのもと、境界杭を設置

事業の検証と評価

森林・林業の再生に向けて動きだしたことを評価する。今後の事業進展のかぎは境界明確化である。しかし、冬期間は山に入れず、相当な時間を要する困難な作業となることを考えられる。山林所有者の高齢化と代替わりも進んでいる。

今後も行政主導の下、早急に森林の整備と、林業の再生・発展を促進していく必要があると考える。



お詫び 前号 (VOL.127) P.13の青木彰榮議員の辞職日が誤っておりました。正しくは10月23日でした。